

2019.10 – 2020.3
コースフロー / コースカリキュラム

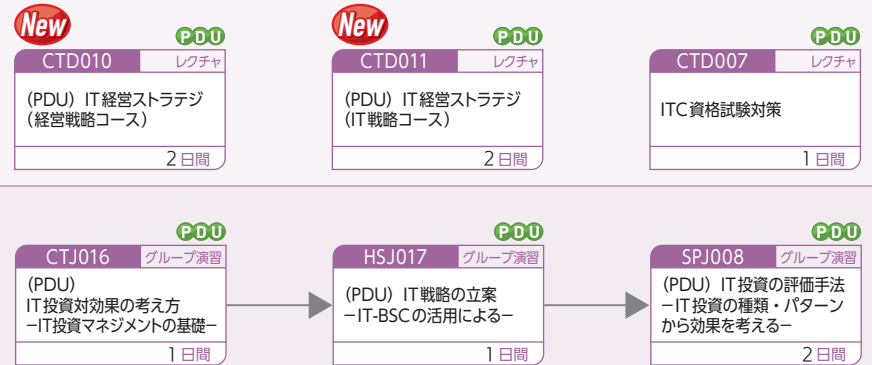
IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、
BA（BusinessAnalysis）に関する
知識や手法が修得できます。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>
日立アカデミーホームページ

● 経営戦略／IT戦略の立案・強化をお考えの方

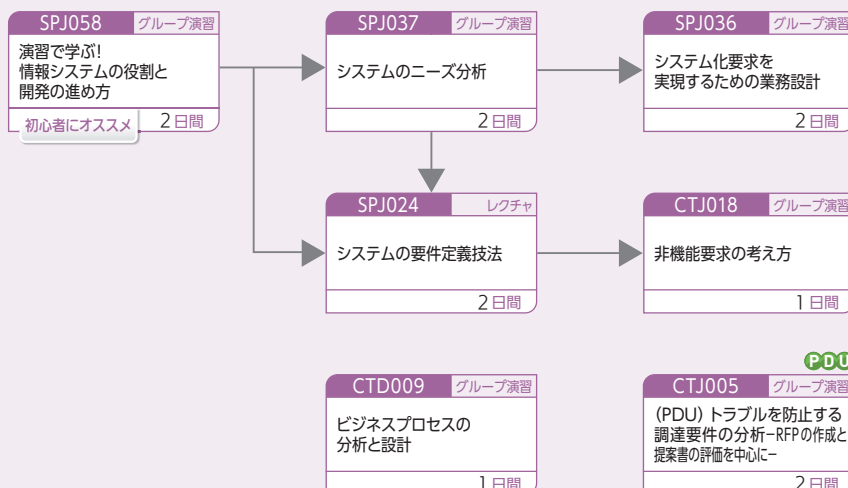
<ITコーディネータ関連コース>



● 内部統制の向上・強化をお考えの方



● システム企画／要件定義に携わる方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



マシン学習
マシンを使用しながらの
研修



グループ演習
グループ演習を中心と
した研修



レクチャ
座学による研修
レクチャ



演習環境
職場、自宅などのマシン演習
環境を使用した自己学習



eラーニング
eラーニング
eラーニング
eラーニング

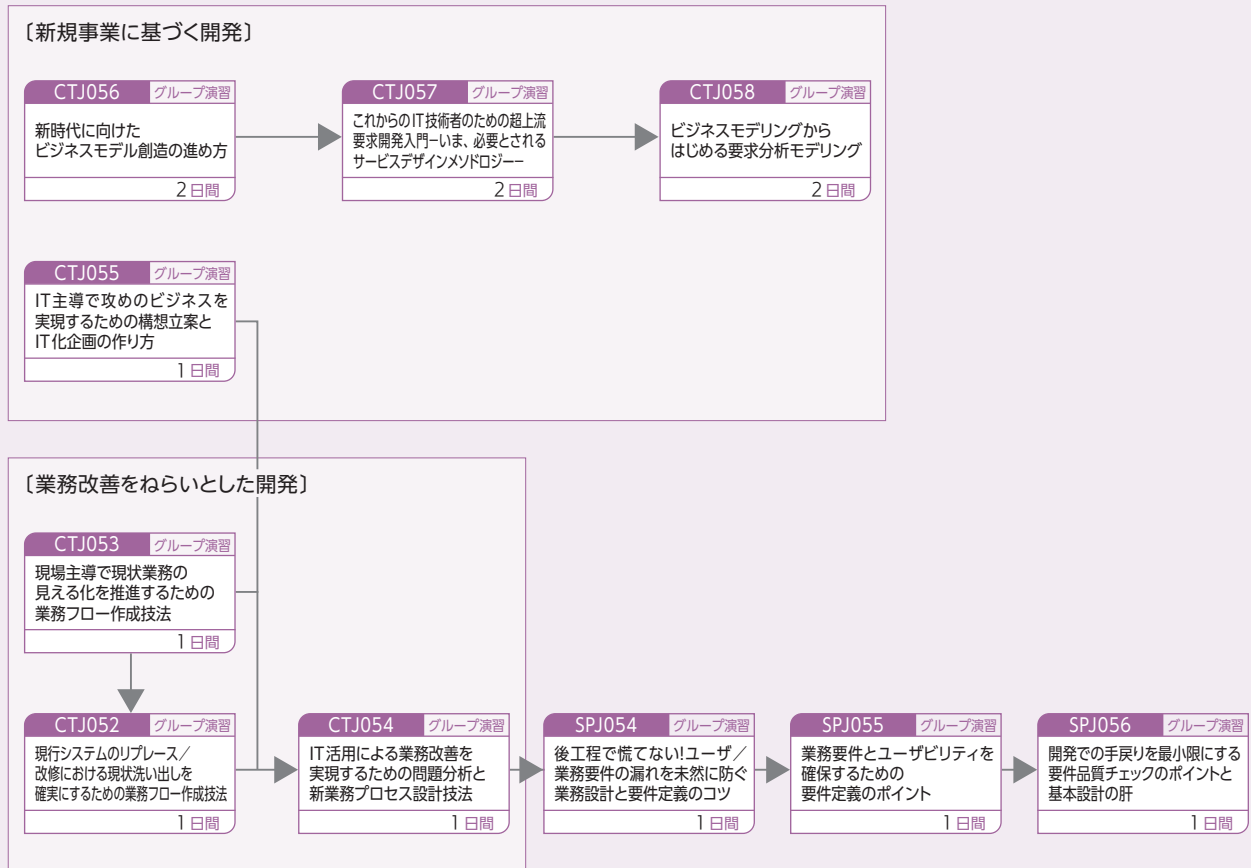


eラーニング
インターネット接続による
自己学習

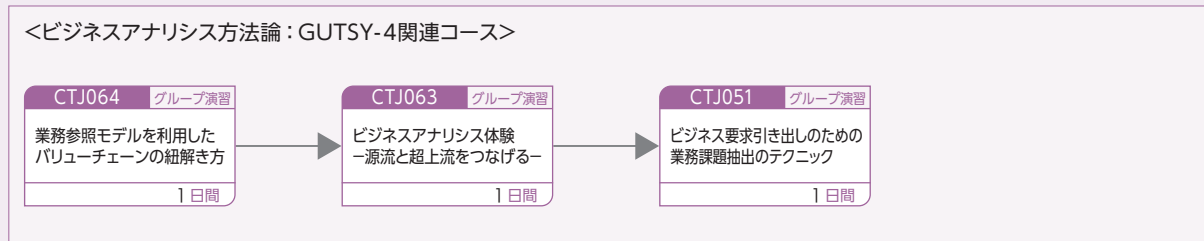
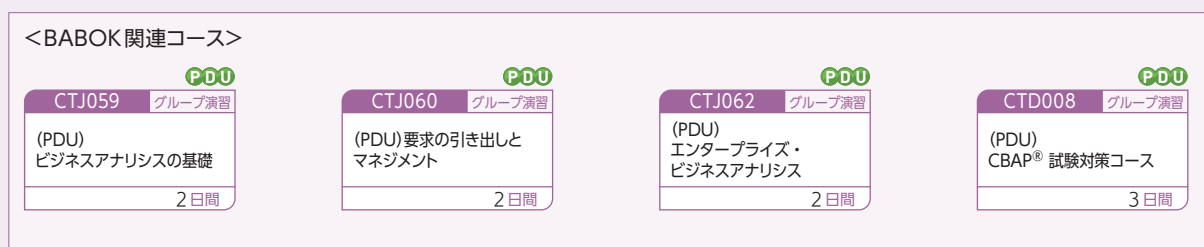


自己テキスト
自己学習による自己学習
自己テキスト

● システム企画／要件定義に携わる方（特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け）



● ビジネスアナリシスに取り組まれる方、関心をお持ちの方



音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。



マシン学習
マシンを使用しながらの
研修



グループ演習
グループ演習を中心と
した研修



レクチャ
座学による研修



演習環境
職場・自宅などのマシン演習
環境を使用した自己学習



eラーニング
インターネット接続による
自己学習



自習テキスト
自習書による自己学習

● 情報システム部門でベンダー・マネジメントに携わる方

休講

CTJ046 グループ演習

情報システム導入を
成功させる要件定義とベンダ
ー折衝の実践ポイント

1日間

CTJ026 グループ演習

情報システムのユーザテストと
移行・切替・本番稼働の
準備実務

1日間

PDU

CTJ005 グループ演習

(PDU) トラブルを防止する
調達要件の分析-RFPの作成と
提案書の評価を中心に

2日間

CTJ022 グループ演習

情報システム部門のための
開発工程における
ベンダー・マネジメント

2日間

● システムエンジニア (SE) でサブベンダーのマネジメントに携わる方

PDU

CTJ037 グループ演習

(PDU) SEのための
ベンダーマネジメント

2日間

● 保守開発に携わる方

SPJ033 グループ演習

保守開発における
トラブル対策の考え方

1日間

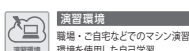
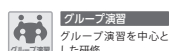
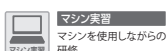
音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



HSJ017 IT戦略・IS企画

グループ演習

1日間

(PDU) IT戦略の立案
-IT-BSCの活用による- **PDU**

「ビジネスに役立つIT投資」を実践するために必要となるIT戦略立案プロセスに関する知識や限られた経営資源で最高のITパフォーマンスを引き出す戦略面でのポイントを、講師による解説、ケーススタディ演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 6.5ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- IT戦略の基礎知識を理解できる。
- 経営者が納得するIT企画書を作成できる。

対象者 IT戦略立案を担当する方、システム企画を担当する方、システムアナリスト・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。

前置知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容

- なぜIT戦略なのか
 - クラウゼヴィッツの戦略論
 - 経営トップはIT戦略に関与しているか
 - IT部門は経営戦略を意識しているか、ほか
- IT戦略の基礎知識
 - 全体最適化
 - 組織体制
 - 情報化投資ほか
- ITバランススコアカード(IT-BSC)による戦略マネジメント
 - ビジョンと戦略
 - IT-BSCの標準フレームワーク
 - IT投資マネジメントへの応用ほか
- 経営者が納得するIT企画書
 - どれだけの費用が発生するのか
 - どれだけの効果が期待できるのか
 - IT投資企画書のフレームワークほか
- まとめ

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願い致します。
- PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

SPJ008 IT戦略・IS企画

グループ演習

2日間

(PDU) IT投資の評価手法
-IT投資の種類・パターンから効果を考える- **PDU**

IT投資に対するユーザ企業の評価は依然として厳しい状況が続いています。このような状況を解決しIT投資を生かすためには、経営陣の積極的な関与はもちろん、IT投資の目標を明確にし、目標に対する費用対効果について適切な評価ができるモデルを構築する必要があります。BSC、IT-BSC、SLMを、演習を通して体験するとともに、IT投資効果を戦略的投資、基盤への投資、保守への投資の観点から把握し、IT投資の評価モデル構築へのアプローチを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 13ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- IT投資の評価モデル構築へのアプローチを理解できる。
- IT投資の種類・パターンから見た効果を把握できる。

対象者 いかにも効果的なIT投資を行うか心に砕いておられるIT部門/ユーザ部門およびベンダの方、中小企業診断士・システムアナリスト・プロジェクトマネージャの方、またはこれらをめざす方。

前置知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容

- IT投資の実態と評価の状況
- 情報化におけるコストの内訳、構造
- IT投資の種類・パターンからみた効果把握のアプローチ
- BSC(バランススコアカード)、IT-BSC(ITバランススコアカード)へのアプローチ、演習
- SLM(サービシレベルマネジメント)へのアプローチ、演習
- IT投資評価モデル構築へのアプローチ

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願い致します。
- PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTJ016 IT戦略・IS企画

グループ演習

1日間

(PDU) IT投資対効果の考え方
-IT投資マネジメントの基礎- **PDU**

IT投資の提案者や評価者が身につけておきたいIT投資マネジメントに関する実践的スキルを、講師による解説、グループ演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 6ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- 我が国のIT投資マネジメントの現状を再確認できる。
- IT投資マネジメントが抱える課題とそれを解決する各種方法論を理解できる。
- IT投資マネジメントシステムの構築手順を理解できる。

対象者 ITプロジェクトの提案及び評価を担当する方、および候補の方。または興味をお持ちの方。

前置知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容

- なぜIT投資マネジメントなのか
 - 我が国のIT投資を取り巻く環境
 - IT投資マネジメントが抱える課題
- IT投資マネジメント概論
 - IT投資マネジメントに関するガイドライン
 - ITIM成熟度モデル
- IT投資マネジメントシステムを構築する
 - IT投資マネジメントプロセス
 - ITバランススコアカード
 - ITプロジェクトの費用対効果分析
 - IT投資ポートフォリオモデル
- まとめ

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願い致します。
- PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTJ005 IT戦略・IS企画

グループ演習

2日間

(PDU)
トラブルを防止する調達要件の分析
-RFPの作成と提案書の評価を中心に- **PDU**

情報システムの開発/導入は重要な投資案件であるにも関わらず、処理能力不足や予算超過など、多くの失敗事例が報告されています。これらの中には調達要件の分析不備が原因と推定されるケースも少なくありません。システム要件を的確に伝えるRFPの作成、ベンダからの提案書の合理的な評価方法、および信頼性を向上させるIT契約書の締結などに関する知識を、演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 12ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- RFPの作成と提案書の合理的な評価ができる。
- 信頼性の高いIT契約を締結できる。

対象者 情報システム部門でシステム企画/調達等を担当する方、システムアナリスト・プロジェクトマネージャ・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。

前置知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容

- IT調達に抱える課題と調達要件分析の重要性
- プロジェクト調達マネジメント/IT調達ガイドライン
- 要件を的確に伝えるRFP(提案依頼書)
 - 演習: 新システム導入に関するRFP検討
- 合理的な提案書評価
 - 演習: ベンダからの提案書評価
- 信頼性を向上させるIT契約書

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願い致します。
- PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

SPJ033 IT戦略・IS企画

グループ演習

1日間

保守開発におけるトラブル対策の考え方

既存システムの修正や改良といった「保守開発」におけるトラブル対策の実践的知識を学習します。保守開発を進めるうえで留意すべきトラブル対策のポイントを、講師による解説とグループ演習を通して理解することができます。

到達目標

- 保守開発の現状と課題が説明できる。
- 保守開発プロセスにおいて強化すべき改善ポイントが提言できる。
- 保守開発で発生したシステムトラブルの原因分析及対策立案を実践できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、保守開発担当者、品質管理担当者、内部監査担当者の方。

前置知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容

- なぜ保守開発のトラブル対策なのか
 - 保守開発の現状
 - 保守開発プロセスが抱える課題
- 保守開発マネジメント概論
 - 保守開発に関連するガイドライン
 - トラブル防止に向けた取り組み
- 保守開発プロセスの改革提言
 - 保守開発段階での品質管理とは
 - 保守開発計画と工数見積りのレベルアップ
 - 開発環境とテスト環境の強化ポイント
- 保守開発トラブルのマネジメント
 - トラブル関連情報の収集と傾向分析
 - ヒューマンファクタ分析の応用
 演習: 保守開発におけるトラブルの事例研究
- まとめ

講師: 前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋 雅夫氏(公認システム監査人)

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願い致します。

CTD010 IT戦略・IS企画

レクチャ

2日間

(PDU) IT経営戦略
(経営戦略コース) PDU

New

IT経営推進のマネジメントプロセスとして、経営課題を引き出し、経営改革を実現するために「経営戦略プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域の経営戦略策定から、経営戦略実行、経営戦略評価段階にいたるまでの一連のIT経営を推進する手順を学習します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver.3.1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感コース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。

※IT戦略、IT利活用プロセスについては、別コースの【IT経営戦略(IT戦略コース)】で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 16ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- IT経営の戦略策定と評価のポイントについて理解できる。
- 経営者視点に基づいた経営戦略の策定に関するポイントを理解できる。

対象者 IT提案に経営者視点を加味したい方。
IT戦略の前工程を学びたい方。
経営企画業務に携わる方。
経営改革または業務改革を提案する方。

前置知識 特に必要としません。

内容

- IT経営推進プロセス ガイドラインの理解
- 変革認識プロセスの理解
- 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ

備考

- このコースは、9:30~18:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、富士ゼロックス総合教育研究所との提携コースのため、富士ゼロックス総合教育研究所で開催します。
- コース実施に必要なご受講者の個人情報をご提供ください。
- PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTD011 IT戦略・IS企画

(PDU) IT経営ストラテジ (IT戦略コース) PDU New

2日間

IT経営推進のマネジメントプロセスとして、IT経営実現領域の「IT戦略プロセス」および「IT利活用プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域のITサービスやIT利活用のための戦略を立て、実行を評価する「IT戦略プロセス」と、具体的なIT利活用実現に向けた活動である「IT利活用プロセス」の重要性を理解します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver.3.1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。※経営戦略の策定・実行・評価を行う経営戦略プロセスについては、別コースの「IT経営ストラテジ(経営戦略コース)」で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:16ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- IT化が経営戦略に基づくものであることを理解できる。
- ITユーザー企業視点に基づいたIT戦略およびIT利活用に関するポイントを理解できる。

対象者

- IT提案にユーザー企業視点を加味したい方。
- IT導入・利活用の前工程を学びたい方。
- IT企画業務に携わる方。
- ITユーザー企業へIT戦略を提案する方。

前置知識 特に必要としません。

内容

1. IT経営推進プロセス ガイドラインの理解
2. 経営戦略プロセスの理解 (一部、業務改革プロセスを含む)
3. IT戦略プロセスの理解
4. IT利活用プロセスの理解
5. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ

備考

- このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、富士ゼロックス総合教育研究所との提携コースのため、富士ゼロックス総合教育研究所で開催します。
- コース実施に必要なご受講者の個人情報をご提供ください。
- PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTD007 IT戦略・IS企画

ITC資格試験対策 PDU

1日間

このコースはITC資格試験に合格するための対策コースで、「出題される箇所」「出題される理由」「具体的な対策方法」を中心に、いかにITCプロセスを要領良く理解し、いかに効率的に対策すれば良いかを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:8ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ITC試験合格に必要なプロセスガイドラインを本質的に理解し説明できる。

対象者 ITC試験を受験予定の方。

前置知識 特に必要としません。

内容

1. ITC試験の傾向と対策
2. IT経営プロセス全体概要
3. IT経営認識プロセス
4. IT経営共通プロセス
5. 上流(経営戦略・IT戦略)
6. 下流(IT調達・IT導入・ITサービス活用)

備考

- このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、富士ゼロックス総合教育研究所との提携コースのため、富士ゼロックス総合教育研究所で開催します。
- コース実施に必要なご受講者の個人情報をご提供ください。
- PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTJ059 IT戦略・IS企画

(PDU) ビジネスアナリシスの基礎 PDU

2日間

このコースでは、ビジネス分析機能の概要とビジネスアナリストの役割について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:14ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ビジネス分析とは何か、なぜ重要かを説明できる。

対象者 ビジネスアナリシスの分野に取り組もうとする方。

前置知識 特に必要としません。

内容

1. ビジネスアナリシスの基本 ビジネスアナリシスとは
2. ビジネスニーズの定義 ビジネス・ニーズとは
3. 要求マネジメント 要求マネジメントとは
4. ベネフィット・マネジメント ベネフィット・マネジメントとは
5. エンタープライズ・アナリシス エンタープライズ・アナリシス・モデル

備考

- このコースは、9:30～18:00の開催とさせていただきます。
- 計算用具(電卓)をご持参ください。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。
- PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTJ060 IT戦略・IS企画

(PDU) 要求の引き出しとマネジメント PDU

2日間

このコースでは、要求事項の分析と文書化に関するビジネスアナリストの役割の紹介とともに、その領域において必要とされるコア知識およびスキルを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:14ポイント)の取得が可能です。

到達目標 要求事項の分析と文書化に関するビジネスアナリストの役割の紹介を行うとともに、その領域において必要とされるコア知識およびスキルを理解し、実践できる。

対象者 ビジネスアナリシスの知識を習熟、あるいはアップデートしたいとお考えの方。

前置知識 ビジネスアナリシスに関する基本的な知識があること。

内容

1. ソリューション・スコープの妥当性確認 目標とスコープの妥当性確認
2. 協働による要求の引き出し 要求マネジメント・プロセス
3. 要求マネジメント モデルとは?なぜ使うか?いつ何をモデル化するのか?
4. 要求の文書化と伝達 要求リポジット
5. 要求の妥当性確認 ソリューションの妥当性確認と検証
6. 要求のコントロール 要求変更管理
7. ビジネスアナリシス計画 要求計画の重要性

備考

- このコースは、9:30～18:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。
- PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTJ062 IT戦略・IS企画

(PDU) エンタープライズ・ビジネスアナリシス PDU

2日間

このコースでは、どのようにして企業規模での複雑性や変革にビジネスアナリシスを適用するのかを学習します。具体的には、エンタープライズ分析とは?といった基本から始めたうえで、ディスカッションを通して、それがどのように投資戦略や変革対応に役立つのか、さまざまなアーキテクチャ(情報、アプリケーション、テクノロジー、ガバナンス)、ビジネス・アーキテクチャのブループリントとフレームワークを踏まえたビジネス・アーキテクチャとエンタープライズ・アーキテクチャの関係について理解します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:15ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- 企業におけるビジネスアナリシスを説明できる。
- 企業の構成要素をモデル化し、それらがどのように働くかを説明できる。
- 戦略を形成するために必要となる顧客価値を特定することができる。
- エンタープライズ分析を通して、どのように組織の人と資産の有効性を強化することができるかを説明できる。

対象者 ビジネスアナリシスの分野に関心のある方。

前置知識 ビジネスアナリシスに関する基本的な知識、一般的な戦略論に関する知識があること。

内容

1. エンタープライズ・ビジネスアナリシス
2. ビジネスアーキテクチャ
3. 価値マッピング
4. ビジネスモデルからビジネス・ブループリントへ
5. ビジネスプロセス管理
6. 組織マップ
7. エンタープライズ・アーキテクチャの作成
8. ケイバビリティ・マップ
9. エンタープライズ・プロセス・ソリューション
10. 組織学習

備考

- このコースは、9:30～18:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。
- PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTD008 IT戦略・IS企画

(PDU) CBAP® 試験対策コース PDU

3日間

CBAP®試験は米国の非営利団体IIBA (International Institute of Business Analysis) が認定する資格で唯一日本語での受験が可能な資格です。そのCBAP®資格を取得するための試験対策として、米国Strategy Execution社のノウハウを活用し、合格に向けた学習ポイントを得られます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:24ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- BABOK®の全体像と基礎知識を深く掘り下げ、合格に向けた学習ポイントや試験傾向と対策を説明できる。
- 現状知識の強いエリア・弱いエリアを明確にし、受験に向けた強化ポイントを説明できる。
- CBAP®およびIIBAに関する知識と受験申請の手続き、受験に際しての心構えについて説明できる

対象者 CBAP®資格取得をめざす方。

前置知識 BABOK®の基礎知識を修得していること。

内容

1. 試験概要/受験申請手続き
2. 基本概念
3. 計画と監視
4. 引き出しとコラボレーション
5. 戦略アナリシス
6. 要求分析とデザイン定義
7. ソリューション評価
8. 基礎コンピテンシー
9. 要求ライフサイクル管理
10. パースペクティブ
11. 150問模擬試験/解答解説

備考

- このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。
- PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※別途ご案内いたします。



マンシ学習
マンシを使用しながらの
研修



グループ演習
グループ演習を中心と
した研修



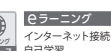
レクチャ
座学による研修



演習環境
職場・自宅などでのマンシ演習
環境を使用した自己学習



eラーニング
インターネット接続による
自己学習



eラーニング
インターネット接続による
自己学習



自己学習
自己学習による自己学習

CTJ046 IT戦略・IS企画

情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント 休講

グループ演習 1日間

要件定義とベンダー折衝を通して、情報システム導入を成功に導く方法論を解説します。特にパッケージ・システム導入を事例として、各種のチェックリストや問題解決技法のテンプレートを使用して具体的な進め方を修得します。

到達目標

- 要件定義作業の進め方、ベンダ提示資料の検討の方法について説明できる。
- 社内手続き、業務改善・管理基準・ルールの改定と整理ができる。
- 要件定義作業成果物の不安、未了および不確定の扱いについて検討できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システム導入に携わる方。

前提知識

- 情報システムの開発に携わった経験があること。
- これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容

- 要件定義とは
- 作業充実の要点とリスク回避
- 要件定義作業とユーザ対応
- 検討作業と整理技法
- 要件定義の事例
- ユーザ資料の作成要領
- まとめ

備考

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、機能要件の明確化と委託先との交渉に関する実務を中心に扱っており、クラウドサービスの非機能要件については扱っていません。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

CTJ026 IT戦略・IS企画

情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務

グループ演習 1日間

情報システム部門が情報システム導入時に安定稼働を確保する条件は、「新規システムの品質確保」と「移行処理・切替作業の確実な実施」および「社内準備のミスのない実行」にあります。このコースでは、情報システム導入時に情報システム部門が社内に対して行う安定稼働を確保するための作業である、ユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備の実務について学習します。

到達目標

- システムの品質保証、問題の管理と解決、移行処理、切替作業の概要を説明できる。
- 社内内外への必要情報の提示、教育研修とマニュアルが作成できる。
- 業務改善、管理基準の変更および運用に関するドキュメントが作成できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システムのユーザテスト・移行・切替・本番稼働の準備に携わる方。

前提知識

- 情報システムの開発に携わった経験があること。
- これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容

- 万全な準備の対象
- ベンダテストの限界とユーザ関与
- 品質を確保するユーザテスト
- 「移行処理」とその対応策
- 切替作業の方法と成功要因
- 安定稼働のための社内準備
- まとめ

備考

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

CTJ022 IT戦略・IS企画

情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント

グループ演習 2日間

外部委託先がシステム開発プロジェクトに参画した段階からの、開発工程におけるベンダー・マネジメントの基礎知識を学習します。プロジェクトのリスクとトラブルを予防し、問題やその兆候を早期に発見し、委託先と協調しながら、現実的かつ確実に課題の解決を図るための方策を修得します。

到達目標

- システム開発プロジェクトのベンダー・マネジメントにおける進捗管理・品質管理・リスク管理・変更管理・コスト管理の特性を説明できる。
- 現状把握、進捗管理、問題解決に向けた有効な質問と聞き取りができる。
- 自身の責任範囲を理解したうえで自社内への問題解決行動の候補を案出できる（折衝/上位者からの交渉/エスカレーション等とすべき行動の判断）。
- 委託先との協調、連携作業を意識した自発的コミュニケーションができる。

対象者 企業内の情報システム部門で外部委託先（ベンダー）と連携してシステム開発に携わる方。

前提知識

- 情報システムの開発に携わった経験があること。
- これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容

- イントロダクション
- 要求とは何か
- 契約と委託内容
- コミュニケーションのマネジメント
- 品質管理とリスク管理
 - 委託先の作業計画の確認
- 進捗管理
 - 現状把握
 - 予定と実績の差異確認
 - 問題への対応
- 変更管理
- まとめ

備考

- このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

CTJ037 IT戦略・IS企画

(PDU) SEのためのベンダーマネジメント PDU

グループ演習 2日間

このコースでは、調達方針を踏まえ、SEがサブベンダーを取り纏める際のVMについて、開発プロジェクトの現場でサブベンダーの作業実態を把握し、作業進捗管理とリスクマネジメントを遂行する方法を修得します。SEがサブベンダーを取り纏める際の、VMのための「プロジェクト実施方法の合意」「VM計画と問題解決プロセスの共有」「VM実行・監視コントロール」の具体策を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:14ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- ベンダーマネジメント(VM)の基本枠組みを説明できる。
- 実際のVM状況の改善策の実務検討ができる。
- ベンダーの問題解決行動を判断、評価する方法を説明できる。

対象者 外部委託先を使って顧客向けシステムを開発するSEの方。

前提知識

- 情報システムの開発に携わった経験があること。
- これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容

- プロジェクト合意
 - プロジェクトで開発するプロダクト、サービス、文書
 - 主要マイルストーン
 - 前提条件の共有
 - リスク要因の共有
 - 契約文書の理解
 - ベンダー責任の明確化
- VM計画と問題解決プロセス共有
 - プロジェクト計画の確認
 - 役割と責任の確認
 - 進捗管理方法の共有
 - 問題解決プロセスの共有
 - リスクマネジメントプロセスの共有
 - 問題解決プロセスの運用方法の共有
 - ベンダーとのコミュニケーションプランの共有
- VM実行・監視コントロール・終結
 - ベースラインの確認
 - ベンダーの進捗報告コントロール
 - 双方でのリスクコントロール
 - 変更コントロール
 - 終結のコントロール

備考

- このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTJ054 IT戦略・IS企画

IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法

グループ演習 1日間

組織の生産性向上を実現するためにはITを活用した業務改善が重要になります。しかし、とすればは既存業務の在り方に引っ張られてしまい単なる現状の焼き直しに留まり期待したほどの成果を得られないケースも度々です。本当に取り組むべき問題をどのようにして発見しIT化によって解決するかの考え方について、書籍「はじめよう!IT化による新業務設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標

- 問題構造分析について説明できる。
- 新しい業務プロセスの作り方について説明できる。

対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわかっているITエンジニア職の方。

前提知識 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。

内容

- 業務改善とは何か?
- 問題構造分析と真の問題
- ITと業務プロセスの関係
- 新しいプロセスのつくり方
- IT化における要件

備考

- このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法-IT化企画の基礎から実践まで-」と同等の内容を含みます。

CTJ055 IT戦略・IS企画

IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方

グループ演習 1日間

デジタルイノベーション・AI・IoT...など、ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスモデルを実現する企業がどんどん生まれています。自社においてこのような取り組みをどのように進めればいいのかを、その最重要ポイントに絞って、書籍「はじめよう!IT化による新業務設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標

- ITの真の価値について説明できる。
- 新しい業務プロセスの作り方について説明できる。

対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわかっているITエンジニア職の方。


前提知識 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。


内容


- IT化と従来のシステム化の違い
- 企画とは何か?
- 顧客と本業とビジネスモデル
- 顧客の真のニーズとToBe設計
- カスタマーエクスペリエンスとIT
- サービスデザインとIT
- IT化とデジタル化の違い


備考


- このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法-IT化企画の基礎から実践まで-」および「ビジネス視点からのITサービスデザインの進め方」と同等の内容を含みます。


CTJ053	IT戦略・IS企画
	現場主導で 現状業務の見える化を推進するための 業務フロー作成技法
1日間	
IT化に限らず現状業務の改善を推進するには現行業務の見える化が不可欠です。現場担当者が前向きになり、かつ割く時間を最小限に抑えながら精度の高い現場業務の見える化を実現するための方法について、書籍「はじめよう! プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。	
到達目標	・業務の構造について説明できる。 ・業務フローの作成方法について説明できる。
対象者	取り組みが進まず困っていたり、これから業務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわかっているITエンジニアの方。
前提知識	3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。
内容	1. どうして業務改善が難しいのか 2. 業務の構造 3. 見える化が難しい理由 4. 業務フロー作成技法
備考	・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成-書き方-書かせ方」と同等の内容を含みます。

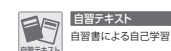
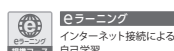
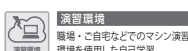
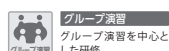
CTJ052	IT戦略・IS企画
	現行システムのリプレイス/改修における 現状洗い出しを確実にするための 業務フロー作成技法
1日間	
昨今のレガシーマイグレーションやモダンナイゼーションのような既存システムの改修・高度化における難関は現状の利用実態を把握しきれず必要な業務ニーズを取りこぼすことです。これを予防するには現行システムの利用状況をしっかりと把握する必要があります。ともしればコミュニケーションが揃ってなかったりする現実において、現状の洗い出しを高効率かつ簡便に実現する方法について、書籍「はじめよう! プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。	
到達目標	・現行システムの洗い出し方法を説明できる。 ・業務の構造について説明できる。 ・業務フローの作成方法について説明できる。
対象者	取り組みが進まず困っていたり、これから業務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわかっているITエンジニアの方。
前提知識	3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。
内容	1. 現行システム調査の盲点 2. ユーザーが期待するもの 3. 業務フロー作成が難しい理由と業務の構造 4. 業務フロー作成技法
備考	・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成-書き方-書かせ方」と同等の内容を含みます。


CTJ064	IT戦略・IS企画
	業務参照モデルを利用した バリューチェーンの紐解き方
1日間	
グローバル標準のプロセス参照モデルであるSCOR ^(※1) をベースにしたGUTSY-4 ^(※2) の業務参照モデルを利用して、モデル企業を分析する演習を行います。この演習を通して、事業のバリューチェーンを捉える上で必要となる企業活動の基本(調達、受注・出荷、在庫管理、生産管理)を学習します。 ※1: supply-chain operations reference-model ※2: Grand Unified Theory Synchronizing 4 models	
到達目標	・業務参照モデルにおけるプロセスの階層を説明できる。 ・業務参照モデルにおける論理的な業務機能を説明できる。 ・業務参照モデルの業務フローを説明できる。 ・業務参照モデルの活用方法を説明できる。
対象者	企業の業務プロセスを学びたい方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. 企業活動 (1)バリューチェーン (2)バリューチェーンプロセスとプロセス参照モデル (3)業務参照モデルの個別企業への適用の仕方 2. 調達業務 (1)調達とは/調達プロセスフロー (2)仕入先 (3)業議・承認 (4)見積・購買依頼・発注、受入・検査、仕入計上、消費税処理、支払条件、取引基本契約 (5)購買業務用語 3. 受注・出荷業務 (1)受注とは/受注・出荷プロセスフロー (2)顧客 (3)与信管理 (4)有効在庫数量、引当 (5)出荷作業、配車・配送、売上計上、取引基本契約 (6)受注・出荷業務用語 4. 在庫管理業務 (1)在庫管理とは (2)ロット管理、シリアル管理、在庫評価方法の種類 (3)棚卸、VMI、在庫補充、ABC分析 (4)在庫管理業務用語 5. 生産管理業務 (1)生産管理とは/製造オーダの流れ (2)資材所要量計算 (3)生産方式の種類 (4)生産プロセスフロー (5)生産管理業務用語
備考	・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。


CTJ063	IT戦略・IS企画
	ビジネスアナリシス体験 -源流と超上流をつなげる-
1日間	
モデル企業のケーススタディを通じてビジネスアナリシスの源流を体感し、GUTSY-4 ^(※1) の業務参照モデルを含む顧客提案のフレームワークとビジネスアナリシスにおける要求の種類とその関係を学習します。 ※1: Grand Unified Theory Synchronizing 4 models	
到達目標	・ビジネスアナリシスにおける要求の種類とその関係を説明できる。 ・自身の従事している業務とビジネスアナリシスとの関係を説明できる。
対象者	提案力を高めたいITエンジニアの方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. 業界特性分析 2. SWOT分析 3. 重要成功要因の優先順位づけ 4. 戦略課題の業務分解 5. IT成熟度評価 6. アクションプラン
備考	・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

CTJ051	IT戦略・IS企画
	ビジネス要求引き出しのための 業務課題抽出のテクニック
1日間	
工場系・営業系・管理系・SCM系に関する、質問によるMECEな業務課題の引き出し方、主要課題一覧表の作成と確認方法を学習します。	
到達目標	企業の全ての業務機能に対して、MECEな質問により業務改革に位置するハイレベルの業務課題を引き出すことができる。
対象者	・ITエンジニア職の若手・中堅の方で、BABOKガイド程度の知識はあるがビジネスアナリシスの実践に不安を抱えている方。 ・ITエンジニア職の若手・中堅の方で、実践において適切な上位者の指導が必要な方。
前提知識	「ソリューション提案のための経営と情報戦略-経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. ビジネスアナリシス方法論GUTSY-4の概論 2. 業務課題インタビューシートの作成方法 3. 主要課題一覧表の作成方法
備考	・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

CTJ056	IT戦略・IS企画
	新時代に向けた ビジネスモデル創造の進め方
2日間	
AI(人工知能)の急速な進化により、すべてのリアル産業をAIが変革する「リアル産業の大自動化革命の時代」がいよいよやってきます。しかし、AIによる全自動化革命の効果を受取るためには、「顧客に価値を提供し普及させて組織に利益をもたらすための斬新なビジネスモデルをデザインし実現することが大前提となります。このコースでは、この大前提を実現するための斬新なCX(カスタマーエクスペリエンス)を生み出すビジネスモデルをデザインする方法(プロセス・מודロロジー・ツール)を、ワークショップを通して学習します。このビジネスモデル・デザインの手法は、「システム思考・分析的思考と直観思考・アナロジカルシンキング」を統合した「アナロジカルメソッド」と呼ぶ独自の手法であり、ビジネスモデルのイノベーション創出という難しい問題に対して、わかりやすくかつきやすい方法である高い評価をいただけてきたものです。	
到達目標	下記プロセスから構成する構想企画プロセスの基礎を理解し説明できる。 (1)技術動向や市場/社会/経済動向の変化や、注目すべき人々のニーズを洞察する。 (2)解決すべき問題・実現したい機会を発見する。 (3)問題解決・機会実現(収益を獲得)することができる提供価値・プロフィットモデルのコンセプトを創出する。 (4)戦略を見極める。カスタマーエクスペリエンス・製品/サービスを設計する。
対象者	・デジタルトランスフォーメーションの実務に関わるすべてのの方々。 ・顧客に魅力的な製品・サービスを提供・提案し、事業収益につながる活動を進めたいすべての方。
前提知識	3年以上の実務経験があること。またITに関する基本的な知識があること。
内容	1. ビジネスモデル入門 2. ビジネスデザインプロセス入門 3. ワークショップ (1)目的・テーマを定める 共感・洞察力を高める 関心事の整理 (2)状況を理解する コンセプトアナリシス ビジネスモデルの現状分析 顧客バリューチェーンのプロセス分析 (3)問題を発見する How might we? (4)コンセプトを発想する コンセプトのアイデアを発想する コンセプトのイノベーション創出とアナロジカルメソッド AI適用のイノベーションドライバー 戦略分析 (5)コンセプトを統合する CX(カスタマーエクスペリエンス)プロセスのデザイン サービスプロセスのデザイン
備考	・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 ・このコースは、予告なく内容を変更することがあります。 ※別途ご案内いたします。



CTJ057	IT戦略・IS企画
	これからのIT技術者のための 超上流要求開発入門ーいま、必要とされる サービスデザインメソッドロー
2日間	
<p>今後、お客様やビジネスパートナーとのやり取りがデジタル化されるDX(デジタルトランスフォーメーション)が大きく進展することが見込まれています。そのために、お客様やパートナーに、サービスとして新しいCX(カスタマーエクスペリエンス)を提供するための、サービスデザインとしての要求開発プラクティスが求められるようになってきました。このコースでは、ワークショップを通して、顧客に対する提供価値をアイデア発想し、斬新なCXを生み出すサービスをデザインする方法(プロセス・メソッドロー・ツール)を学びます。この提供価値をアイデア発想する方法は、「システム思考・分析的思考と直観思考・アナロジカルシンキング」を統合した「アナロジカルメソッド」と呼ぶ独自の方法であり、サービスのイノベーション創出という難しい問題に対して、わかりやすくかつきやすい方法であると高い評価をいただけてきたものです。</p>	
到達目標	斬新なCXを生み出すサービスをデザインする方法(プロセス・メソッドロー・ツール)を説明できる。
対象者	斬新なCXを生み出すサービスをデザイン・提案する必要があるIT技術者や営業・企画担当者などの方。
前提知識	3年以上の実務経験があること。またITに関する基本的な知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> サービスデザインプロセス入門 サービスデザイン・ワークショップ <ol style="list-style-type: none"> 目的・テーマを定めるー与件の整理 与件の整理とアリアリングの実施 共感・洞察力を高める 状況を理解する 対象の「もの・こと」を理解する カスタマーバリューチェーンのシステム分析 どの価値の流れに注目するのか 問題を発見する How might we ? サービス・コンセプトの創出 アイデア発想法 ブルーオーシャン戦略の活用 アナロジカルメソッド サービスデザインを総合する CXプロセスのデザイン サービスプロセスのデザイン
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 このコースは、予告なく内容を変更することがあります。※別途ご案内いたします。

CTJ058	IT戦略・IS企画
	ビジネスモデリングからはじめる 要求分析モデリング
2日間	
<p>今後、お客様やビジネスパートナーとのやり取りがデジタル化されるDX(デジタルトランスフォーメーション)が大きく進展することが見込まれています。このDXにおける要求分析は、お客様やパートナーに、どのようなサービスを提供するかというビジネスモデリングからはじめて要求分析につなげるプラクティスが重要とされます。ところが、この要求分析プラクティスには、業務プロセス分析にもとづいた業務設計から始めるという最初のステップが欠落していることが良くあります。結果、個別の要求にとらわれて全体的な整合性を欠いた要求分析を行うこととなります。このコースでは、ビジネスモデリングからはじめて、業務プロセス分析からの業務設計の成果にもとづく要求分析モデリングの方法をワークショップで実践します。加えて、複数の要求分析モデルを相互すりあわせすることで、「もれがなかつたばかりがない」要求分析モデルの実現もめざします。</p>	
到達目標	ビジネスモデリングからはじめて、業務プロセス分析からの業務設計の成果にもとづいて、経営効率化・迅速化に寄与し信頼性の高い基幹システムの導入開発を実現するための、要求分析モデリングの方法を説明できる。
対象者	経営効率化・迅速化に寄与し信頼性の高い基幹システムの導入開発のために、要求定義・要求分析を行う提案・企画担当者やIT技術者の方。
前提知識	3年以上の実務経験があること。またITに関する基本的な知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング入門 <ol style="list-style-type: none"> デジタルトランスフォーメーションの要求分析に求められること デジタルトランスフォーメーションとパイモダリティ ビジネスモデルとビジネスデザインプロセス入門 ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング・ワークショップ <ol style="list-style-type: none"> お客様やビジネスパートナーへのサービスデザイン Design Structure Matrixによるワークフローモデリング イベントモデルやデータモデルによる最適化 詳細な要求分析モデルの作成 なぜビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリングか <ol style="list-style-type: none"> 日本のIT経営の重要課題 業務設計からの要求分析モデリングの最適化 ビジネスモデリングと要求分析モデリングの親密な関係
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 このコースは、予告なく内容を変更することがあります。※別途ご案内いたします。

HITACHI

Inspire the Next

各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名古屋	052-269-8940	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立研修会お問い合わせ窓口 > <https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html>